

**WRk競技会に関するお願い**

## WRk

---

- 国内で行われるほとんどのWRk（定義：3a.とb.）では〔国際〕をすべて適用する必要はなく、**以下を除き、国内規則の適用で可**
  - ✓必ず適用しなければならないと明記のあるもの
  - ✓競技者にWA規則よりも多くの権利を与える（有利になる）もの
- 但し、WRkによっては（定義：1.a.～e.、2. a.～e.）、〔国際〕適用必須

- **WRK競技会のポイント**

**2023年1月からWRK競技会の記録でないとワールドランキング、世界大会参加資格などWA記録集計の対象にならない**

## 確認事項 WRK競技会について(再掲)

### <WRK の条件>

- 必ず**事前申請**で**オンラインによる手続**が必要
  - 遅くとも**60 日前**までに、実施種目、開催場所などを申請しないといけない
  - WAラベル大会、コンチネンタルツアーなど WA、AA が認証する国際競技会もオンライン申請に移行。(対応者:ラベル=大会事務局 CT=陸連事務局)**
  - 申請料**を支払う必要がある
- WRK競技会にするには **WA 規則に準拠** していなければならない
  - WA規則に沿った器具の使用
  - ロードはWA 認証のコース検定が必要、
  - 競歩はU20 以下を除き、3 名以上の IRWJ が必要

## 確認事項 WRK競技会について(再掲)

<WRK の条件>

- 大会終了後**24 時間以内に記録の報告**が必要
  - WRK競技会は一つの競技会のなかでも対象とする種目と対象としない種目に分けることができる
  - WRK競技会は WA カレンダーに掲載され、ラベルが付与される
  - WRK大会における記録は国際大会などの参加標準記録やワールドランキングの対象となる**
- WRK非対象大会は、世界記録相当でも世界記録公認されず、国際大会の資格記録にはならずランキングにも反映されない

## 確認事項

# WRk競技会について(再掲)

### <競技運営>

- WA規則で大会を運営すること  
特に記録や計測に関わる部分の適用計測器具
- 投てき器具
- 計測方法など(WAに承認された器具・方法)
- ロードはWA認証コース、
- 競歩はWA認証コース、IRWJ3名以上が必要

## 確認事項 WRK競技会について(再掲)

### <申請に必要な項目>

- 大会名(英語名称)
  - 大会会場(英語名称)
  - 大会期日
  - WRK実施種目(年齢カテゴリー+種目名)
  - 大会情報掲載ページURL
  - 大会記録掲載ページURL
  - 大会情報発信ページURL(streaming page情報など)
  - 大会問い合わせ先(メールアドレスなど)
  - 競歩種目実施の場合IRWJ3名の氏名など
- 申請料1大会あたりの申請料(4000円)が必要

## 確認事項 WRk競技会について(再掲)

・800mまでの競走:写真判定を利用しているか? SISの使用は必須ではない。

→ただし、エリア記録(アジア記録)以上が出た場合は、短距離種目は認定されない。

・計測機器:WAの認定を受けているものを使用しているか?

**透過式計測器を使用してもよい(走幅跳及び三段跳)**

→ただし、エリア記録(アジア記録)以上が出た場合は、鋼鉄製巻き尺での再計測・確認が必要となる。



## 確認事項

## WRk競技会について(再掲)

- ・機械式風力計を使用してもよい。(CTは不可 TR17.9)  
→ただし、エリア記録(アジア記録)以上が出た場合は、認定されない。
- ・競技開始前にゼロコントロールテスト(写真判定機)を実施し、正確性を担保しているか？
- ・競技開始前後に、光波測定器の正確性を担保しているか？
- ・フィールド競技で試技終了後1回ずつ計測をしているか？
- ・走幅跳及び三段跳で粘土板あるいはビデオによる踏切判定が行われているか？

## 確認事項

## WRk競技会について(再掲)

### WRk競技会の記録報告に必要な条件

#### 記録報告

- 競技会が開催された**24 時間以内**に、公認記録電子申請により記録報告を行う
- 電子申請には従来より指定の項目のほか、英語種目、英字氏名、生年月日、国籍、などを必要とする
  - \* 英字氏名、生年月日、国籍などの情報は、エントリー時に取得する
- 陸マガ記録室だけでなく、WAアドレスにも必ず送信する

# WRk競技会に関するお願い1

WRk競技会に指定する場合は、WAIに事前申請する  
その際

➤ 加入団体の競技会で、特に行政や新聞社、実行委員会が  
主催者の場合

➤ 海外の競技者を招待/参加する場合

○ 主催者がWAIにWRk申請していない場合がある

(海外競技者はWRk競技会と認識していることがある)

➤ 各加盟団体に把握しておく必要がある

# WRk競技会に関するお願い2

## 競技場のWA承認に関して

ワールドランキングFカテゴリーの大会は国内公認で差し支えない

2025年からはEカテゴリーの国内WRk大会でもクラス2以上が必要となる

本当は2024年からの適用だったが各国のクラス2更新が進んでいないため一年適用開始が延期になった

# WRk大会カテゴリー 一覧

大会のカテゴリー別に順位ポイントが付与される。以下、カテゴリー別競技会の例。

※CT：コンチネンタルツアー（WAが主催する陸上競技の世界ツアー）

大会カテゴリー	競技会の例
OW	オリンピック/世界選手権
DF	ダイヤモンドリーグ ファイナル
GW	世界室内/ダイヤモンドリーグ・世界ロード/プラチナラベルマラソン 例： <u>プラチナラベルマラソン（東京/大阪国際/名古屋）</u>
GL	アジア選手権・混成ツアーゴールド（ゲティス・タレンス大会のみ）
A	各種ツアーゴールド（CT/混成/競歩クロカン/ゴールドラベルマラソン） 例： <u>アジア大会/セイコーゴールデンGP/ゴールドラベルマラソン（福岡国際/大阪）</u>
B	各種ツアーシルバー/ワールドエボリューションズ/ 国内選手権例：日本選手権
C	各種ツアーブロンズ（CT/混成/競歩/クロカン/エリートラベルマラソン） 例：織田記念大会、木南記念大会、静岡国際大会、Yogibo Athletics Challenge Cup
D	CTチャレンジャー 例： <u>日本グランプリシリーズG2加盟大会（兵庫RC/エディオンDCなど）</u>
E	国別対抗戦・国際競技会・各国陸連が指定した国内競技会 例： <u>日本グランプリシリーズG2加盟大会（Dカテゴリー以外）</u> など
F	各国国内WRk対象公認競技会

▼WA大会カテゴリー (1.3 CATEGORIES OF COMPETITIONS)  
<https://worldathletics.org/world-ranking-rules/basics>

国内の多くの競技会が  
Fカテゴリーに該当します。

## 2024年以降について

- WAの審判制度が変更になる見通しで、それに合わせてWAの審判資格取得者(Bronze Referee)がWRk対象大会で審判長などを務める
- 申請、報告の手続きなどについては、24年以降変更になる可能性がある

## 記録の信憑性について **SNS等ネットの普及**

- 記録の信憑性について世界的に課題になっている
- 日本国内でも、ルール通りの運営が行われていないと思われる競技会がある
- ルール通りに実施されていない競技会をWRk競技会として報告した場合、日本全体として非常に重いペナルティー(監視対象国に指定され、日本選手権、CT大会など以外はWRk競技会に申請できなくなる)を受けることになる
- 記録の信憑性の確保をどのように行っていくかについては、継続して検討していく